橋本病 02

甲状腺ホルモン薬を飲む方へ

> 足りないホルモンを補うだけの薬です。体の中で作られるものと同じなので、量が合っていれば副作用の心配はほとんどありません。

Q どんな薬ですか

甲状腺の働きが弱くなったときに、**足りない分を補う薬**です。レボチロキシン（チラーヂンSなど）を使います。

体の中で作られるホルモンと同じものなので、何かを抑えたり体に無理をさせたりする薬ではありません。**量が合っていれば、飲んでいることを意識せずに過ごせます。**

慢性甲状腺炎（橋本病）のほか、**甲状腺の手術やアイソトープ治療のあと**にも使います。

Q 飲み方

1日1回です。食前・食後を問わず、決められたとおりに飲んでください。

- 飲み忘れに気づいたら、その日のうちに飲んでください
- **鉄剤・カルシウム製剤とは時間をあけます** — この薬とくっついて吸収を妨げるためです。**市販のサプリメントも同じ**です。鉄やカルシウムを含むもの（マルチビタミンに入っていることがあります）にご注意ください。どのくらいあけるかは医師・薬剤師にご確認ください

Q 量が合っているかはどう確かめますか

採血の TSH で判断します。体調だけでは分かりにくいためです。

TSH	体に起きていること	出やすい症状
高い	薬が足りない	だるい・むくむ・寒がり・便秘
基準範囲内	適量	—
低い	薬が多すぎる	動悸・汗が増える・手の震え・眠りにくい

Q 気をつけていただきたいこと

- **自分の判断で量を変えたりやめたりしない** — 調子がよいのは薬が効いているからです
- **妊娠を考えはじめたら、その時点でご相談ください** — 妊娠前に量を整えておきます
- **妊娠すると必要な量が増えます。**妊娠が分かったら、できるだけ早くご連絡ください

Q ずっと飲み続けるのですか

多くの方は続けることになります。足りない分を補うだけの薬なので、**長く飲み続けても差し支えありません。**量が決まってしまえば、通院の間隔もあいていきます。

出典：チラーヂンS錠 添付文書／日本甲状腺学会 甲状腺疾患診断ガイドライン2024

診療目的での複製は自由に行えます。